



発行所
山形新聞社
〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)
(c)山形新聞社2017

2017年
7月29日
〈土曜日〉



特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

北深夜にICBM発射

奥尻島沖 EEEZ内に落下

北朝鮮は日本時間の28日午後11時42分ごろ、北部慈江道舞坪里付近から弾道ミサイルを日本海に向けて発射した。防衛省によると、約45分で約千キロ飛行、北海道・奥尻島の北西約150キロの日本の排他的経済水域（EEZ）内に落下した。通常より高く打ち上げるロフテッド軌道で発射され、高度は過去最高の3500キロ超に到達。米政府は大陸間弾道ミサイル（ICBM）と断定した。米専門家によると、通常軌道の場合、米本土中西部に届く射程1万キロに及ぶ可能性がある。



北朝鮮のミサイル発射に関し、取材に応じる安倍首相＝29日午前1時43分

米本土到達の射程1万キロか

安倍晋三首相は29日、統領も声明で「無謀で、日に当たる今月4日に未明、記者団に対し「わが国の安全保障に対する脅威が重大かつ現実のものになった」と非難した。トランプ米大統領は米独立記念

日、朝鮮半島の安全確保に全力を尽くすと強調した。北朝鮮は米独立記念

鮮労働委員長が立ち会い、火星14の2回目の発射実験に「成功した」と報道。高度3724・9キロに達し、47分12秒の間に998キロ飛行したとしている。

4日の発射では火星14の射程は米アラスカ州に届く6700〜8千キロとみられていた。これを上回る射程で米本土への攻撃能力を実証すると同時に、深夜の発射で奇襲も可能なことを誇示する狙いがあると思われる。日米は韓国と共に対北朝鮮圧力を強める構え。岸田文雄外相兼防衛相は29日、「さらに厳しい措置を含む新たな国連安全保障理事会決議の採択に向け日米韓で連携する」と述べ、中国、ロシアへの働き掛けを強める考えを示した。

購読・試読のお申し込みは▶ フリーダイヤル 0120-81-8040